

議 事 録

- 1 会議名 東海市総合計画審議会全体会（第4回）
- 2 議題 答申書（案）について
- 3 開催日時 令和5年（2023年）10月24日（火）午後2時から午後2時50分
- 4 開催場所 東海市役所 302会議室
- 5 出席者（敬称略）
 - 委員 学識経験を有する者 千頭 聡
 - 福祉関係団体を代表する者 久野 久行
 - 学識経験を有する者 谷口 庄一
 - 学識経験を有する者 小嶋 真一郎
 - 防災関係団体を代表する者 近藤 秋男
 - 福祉関係団体を代表する者 中村 友美
 - 教育関係団体を代表する者 片山 健児
 - 教育関係団体を代表する者 神野 悟史
 - 高齢者団体を代表する者 服部 和子
 - 農業者団体を代表する者 木下 俊春
 - 商工業者団体を代表する者 森岡 厚喜
 - 商工業者団体を代表する者 安藤 和明
 - 勤労者団体を代表する者 松田 剛
 - 女性団体を代表する者 加藤 龍子
 - 町内会、自治会等を代表する者 鈴木 加奈美
 - 市議会の議員 北川 明夫
 - 市議会の議員 蔵満 秀規
 - 市議会の議員 井上 純一
 - 市教育委員会の委員 久野 友士
 - 市農業委員会の委員 久野 光洋
 - 市内に住所を有する者 坂野 梨絵
 - 市内に住所を有する者 山田 晋也

事務局 企画部長	成田 佳隆
企画部次長兼財政課長	加藤 浩
企画政策課長	内山 貴裕
企画政策課 統括主任	伊藤 純一
主任	新海 俊介

6 欠席者（敬称略）

委員 教育関係団体を代表する者 下平 兼善
青年団体を代表する者 蟹江 直矢

7 公開、非公開の別 「全て公開」

8 傍聴者の数 1人

9 会議内容

（次第1 開会）

事務局（部長）の会議進行により、東海市総合計画審議会全体会（第4回）を開会。

（次第2 議題）

答申書（案）について（資料1、資料2）

事務局（課長）から、答申書（案）について説明。

<意見及び質問>

坂野委員；答申書（案）の3ページ、めざすまちの姿3の4について、「町内会・自治会の活動については、加入率を上げる努力をしていく」とあるが、第1部会の議論では、町内会の加入率を上げることが難しいのではないかという結論が出されたと認識している。第3回全体会で「加入率を上げる努力も必要」という意見が出たことも承知しているが、その時の議論では、この文面を入れることで本当に加入率を上げることが果たせるようにはあまり見えなかった。答えを出しづらいところだとは思いますが、この表現で良いのか疑問に感じている。「努力をしていくとともに」という表現は、その前後の両方を同格として推進していくという表現であると思う。後半の意味が強いのであれば、他の表現があるのではないか。

久野久行委員；現在、行政ではコミュニティの充実を進めている。町内会・自治会の加入者が減少しているため、コミュニティに移行しようというものだが、コミュニティ

を維持しているのは自治会・町内会の役員である。各種団体の代表者だけではコミュニティを維持することは難しく、自治会・町内会の維持も必要であることを考えると、記載されている文章が良いのではないかと考える。

神野委員；P T Aもコミュニティと同じことが言える。今の時代に合ったあり方に変えていく取り組みも必要だが、町内会・自治会の加入率が下がっても良いとは思っていない。P T Aの立場としては、加入率を上げていく努力はしていきたいと考えている。新しい住民に加入を強要することは良くないが、長く続いてきた地域の活動を維持することに対して、新しい住民には理解をしていただきたいと思っている。

事務局（課長）；「加入率を上げる努力をしていくため」という表現も考えたが、委員の皆さんのご意見を伺うと、町内会・自治会の活動はこれからも引き継いでいく一方で、時代に合った方法や、枠にとらわれない活動もあるのではないかと感じた。これまでの全体会や部会、先ほどのご意見を踏まえて、「時代に合ったあり方」と「加入率を上げる努力」を併記することが、委員の皆さんのご意見として表現できると考えた次第である。

千頭会長；南海トラフ地震などこれから起こる災害の防災・減災を考えると、自治会・町内会への加入は重要だが、「入ってほしい」とただ言うだけでは加入してもらえない。加入する意義や楽しさなどを伝え、加入してもらおう努力は必要だということが皆さんの考えだと思うがどうか。

坂野委員；私は町内会に入っておらず、P T Aの役員経験もまだ無いが、活動する余力がどうしてもない状況である。そうした家庭は増えてきており、親だけで子どもの面倒をみたり、働かなければいけないとなると、町内会やP T Aへ参加する時間が足りない。そうした現状を踏まえて見直していくことが市民に伝われば良いと思う。

加藤委員；目的のためにどのような努力をし、どのような結果がついてくるかという点では、「加入率を上げる努力」と「今の時代に合ったあり方」の記載の順番は逆にした方が良いのではないか。

北川委員；「加入率を上げる努力をしていくためにも今の時代に合ったあり方に変えていく」という表現方法もあるのではないか。また、順番を逆にした方が良いという意見も出たが、その表現になると、行政側に発するメッセージとしては弱くなってしまっているのではないか。町内会・自治会は元々自主的な組織であるが、行政にも然るべき役

割を果たしてほしい。行政は現在、コミュニティを中心に活動するという働きかけを行っているが、町内会・自治会への加入努力を行政としても地域と連携して取り組んでほしい。

事務局（課長）；加藤委員のご意見を参考にすると、「今の時代に合ったあり方を変えていく取り組みを進めるなど、加入率を上げる努力を続けられたい。」となる。

北川委員；市長に提言するのであれば、その表現では行政は町内会・自治会の活動をサポートする側にまわってしまう。行政ができることとしては、住民の自治活動を促進する条例などをつくって市民に強く呼びかけることや、人的支援や財源的支援を充実させることなどがある。表現を変えることで、名宛人も変わってしまうのではないか。

千頭会長；冒頭に「加入率は年々減少傾向である」と書いているので、加入率を上げる努力について記載する。その次に活動について、今の時代に合ったあり方に変えていくと記載してはどうか。前半部分で加入率について、後半部分で活動について、切り分けて表現してはどうか。

事務局（課長）；「町内会・自治会の加入率は年々減少傾向であることから、加入率を上げる努力を続けられたい。また、町内会や自治会の活動については、今の時代に合ったあり方に変えていく取り組みを進められたい。」という表現はどうか。

千頭会長；後ほど市長に答申するが、総合計画審議会にて今の議論があったことをお伝えしたいと思う。事務局からいただいた案でよろしいか。

全体；異議なし。

山田委員；答申書（案）の4ページ、行政推進項目の5について、市長に対して、SNSの情報発信は効果的であり、推進していくことを強調するためにも、「SNSなどによる情報発信は伝達速度が速く」などの文言を追加してはどうか。

谷口委員；今の文言では、情報発信の何が効果的なのかわかりにくいと感じる。

千頭会長；伝達の速さ以外にも、従来の広報紙を読まない方に対して情報が届き、伝わる相手が広がるという点としても効果的だといえるのではないか。

事務局（課長）；「SNSなどによる情報発信は伝達速度が速く、幅広い市民に届くなど効果的であることから」という修正はどうか。

坂野委員；行政推進項目の5に「学校や企業などをはじめとして」とあるが、これは学校や企業を通じてという意味か。

事務局（課長）；市民いわゆる個人に対しての意味もあるが、市外から東海市の学校や企業に通学・通勤している方にも、東海市の情報を知っていただきたいという考えがある。東海市をよりよく知っていただくことで、最終的には移住や、通学・通勤以外での東海市への来訪にもつながれば良いというご意見を踏まえて記載している。

千頭会長；「学校や企業などをはじめとして」の部分を、「本市に通学・通勤している方に対しても」と変更してはどうか。

坂野委員；東海市に通学・通勤している人にも有益な情報があるという意味もあるならば、情報発信をどうするか、なぜ情報を受け取るべきなのかという部分の記載もあれば良いと思う。

蔵満委員；私が意見した項目になるため補足させていただくと、SNSは緊急時、災害時に迅速に情報を受け取ることができる。「迅速かつ効果的」などという言葉をつけ加えてはどうか。また、行政はLINEアカウントの普及も目指していると思うため、「LINEアカウントをはじめとした」という言葉を追加しても良いのではないかと。

加藤委員；時代とともに新しい手法に変わっていくため、「LINE」という特定のSNSに絞らない方が良いのではないかと。

事務局（統括主任）；「SNS」の部分は、はじめは「LINE」という表現をしていたが、10年という期間を考えると新しいものも配信されていくため、特定のものではなく「SNS」と表現した。その一方で、東海市のLINEアカウントを普及させたいという思いも当然あるため、分野別計画の行政推進項目部分に市のLINEアカウントの二次元コードを掲載し、PRすることを考えている。答申書においては、「SNSなどによる」と表現したい。

事務局（課長）；前半部分については、「SNSなどによる情報発信は伝達速度が速く、幅

広い市民に届くなど効果的」、「SNSなどによる情報発信は迅速かつ効果的」、「SNSなどによる情報発信は迅速かつ幅広い市民に届くなど効果的」という案がある。後半部分は、「本市に通勤・通学をしている方に対しても、本市の魅力や市政情報を周知するため、市アカウント登録の普及啓発」という表現はどうか。

千頭会長；前半部分について、広報紙だけでは情報がなかなか伝わらないという議論が度々あることから、「SNSなどによる情報発信は伝達速度が速く、幅広い市民に届くなど効果的」と表現するのが良いのではないか。後半部分については、事務局からいただいた案でよろしいか。

全体；異議なし。

千頭会長；東海市の場合、随時並行して修正をしている部分もあるが、最終的な計画内容については、総合計画審議会の答申書を受けて、東海市が修正する形になる。総合計画審議会で一字一句修正はしないが、この場の議論がどのようなものだったかを、市役所や市長にお伝えできれば良いと考えている。委員の皆さんはいずれかの形で行政と接点を持つ方が多いと思う。皆さんの想いを色々な形で市役所や市長にお伝えいただきたいと思っている。

それでは、第7次総合計画の諮問に対して、今回議論していただいた2か所を修正した上で、答申書とすることよろしいか。

全体；異議なし。

(閉会)

事務局（部長）の会議進行により、東海市総合計画審議会全体会（第4回）を閉会。